

3. まつど産学官フォーラム 食は人を良くする？みんなで話そう！食育の秋！

まつど産学官懇談会は、平成 11 年度から松戸市における産学官連携の可能性の検討や情報交換を行っています。平成 18 年度の懇談会の中で、松戸市で積極的な取り組みを進めている「食育」をテーマにしたフォーラム開催の提案があり、平成 19 年 11 月 29 日に初めての産学官フォーラムが松戸商工会館で開催されました。



フォーラムの一部では、平成 19 年 10 月に実施した食育に関する市民アンケート調査の中間集計結果をもとに「松戸市民の食育意識とその課題」と題して、松戸市食育推進委員会会長を務める千葉大学大学院園芸学科研究科の大江靖雄氏より基調講演をいただきました。また、第二部においては、「実践！食育！できることから取り組もう！」と題し、松戸市農業協同組合の木口直之氏、聖徳大学の長江曜子氏、日本大学松戸歯学部の高鹿純一氏、流通経済大学の古井恒氏によるパネルディスカッションを行いました。また、講演会終了後、松戸市農業協同組合、千葉小金農業協同組合による松戸産の農産物の無料提供や試食があり、とれたて新鮮な野菜の魅力に大きな関心が集まりました。基調講演では、市民の食育に関する意識



を行いました。また、講演会終了後、松戸市農業協同組合、千葉小金農業協同組合による松戸産の農産物の無料提供や試食があり、とれたて新鮮な野菜の魅力に大きな関心が集まりました。基調講演では、市民の食育に関する意識

の高さや世代によって異なる意識の差についてお話がありました。パネルディスカッションでは、かむことの大切さや松戸特産の食べ物や新鮮で安全な松戸の農産物の紹介、食のリサイクルなど食に関わる非常に広範囲な話を聞くことができました。フォーラム終了後は、参加者から活発に質問が出され、食という身近な問題に対する市民の関心の高さが伺えました。今後も特色のある市内4大学と産業界、行政との連携による食を通じた積極的な取り組みが期待されます。

